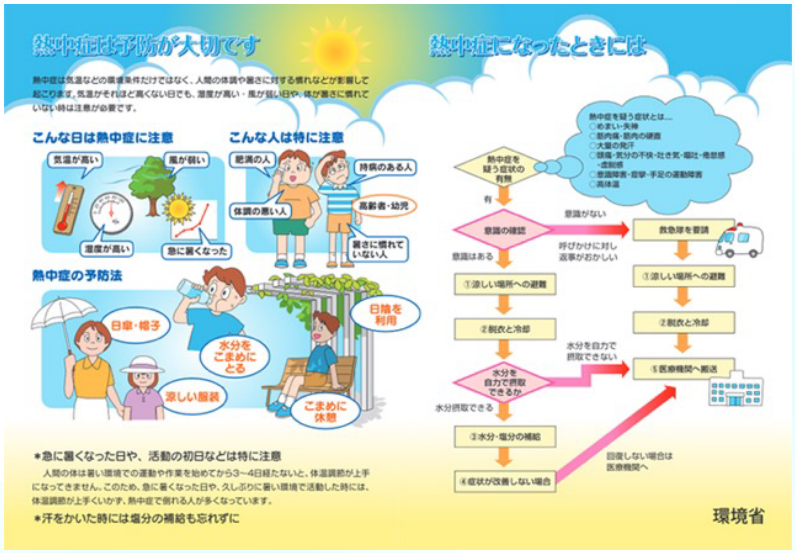
まさかより もしもで行う危険予知 未然に防ごう 事故 災害
日本ステージ安全衛生向上委員会
2017.8月号 No.184

SAFETY News!

熱中症に注意しましょう!!

気温、湿度も高い夏の現場は作業環境が悪く、熱中症が増大します。こまめな水分補給、塩分補給の徹底に努めましょう!



高温多湿の屋内外で30分を超える長時間の労働やスポーツなどにより汗を大量にかくと、体内の水分とともに塩分やミネラルも奪われてしまいます。そこに水分補給だけを行うと、血液中の塩分・ミネラル濃度（体内における塩分やミネラルの割合）が低くなり、様々な熱中症の症状が出現します。つまり、水分だけを補給することがかえって、熱中症の発症へとつながったり、悪化させたりすることもあるのです。

熱中症が疑われるときは、ただ水分を補給するのではなく、塩分も一緒に補給することが重要です。自分で手軽に作れる食塩水もよいでしょう。

①涼しい場所に移動する

建物が近くにない場所にいる場合、木陰に移動します。建物があるならエアコンが効いた屋内に入りましょう。

②衣服を緩める

服を緩めて風通しを良くします。楽な状態になるようにベルトやバンドは緩め、ネクタイなどは外してください。

③身体を冷やす

タオルを濡らして顔や手足に当てたりうちわなどで扇いだりして身体を冷やしましょう。首、腋窩（腋の下）、鼠径（足の付け根）には大きな動脈があり、ここを冷やすと体温を下げることができます。

夏の安全パトロール

安全衛生向上委員会では毎月、舞浜と潮見を安全パトロールと題して、各項目で分かれたチェックシートに沿ってパトロールを実施しています。岩松さん主導の元、作業するにあたって危険な箇所はないか、消火設備が機能しているか、整理整頓されているかなど細くチェックしていきます。今回は舞浜の作業灯が切れている箇所が多くあり、新規取り替えを含め、早急に対応しました。また、スタジオ裏などの雑草が生い茂ってきましたので、狩り取る必要があると判断されました。
このようにチェックしていくことでより良い職場環境を構築していきましょう!

No.183-184　編集広報担当 東京デザイン課:小林 技術部:安居　営業部:中山